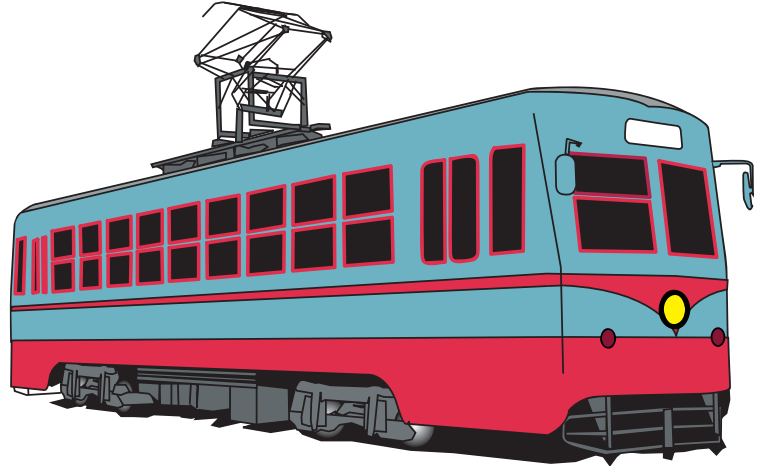




## 東武鉄道日光軌道線 100 型電車 (岡電 3000 型) 塗装復元募金のお願い



### ■塗装復元の目的

この旧東武鉄道日光軌道線 100 型電車は、都電を除くと関東地方出身の路面電車では数少ない現役車両であり、また旧国鉄湘南電車の流れを汲む正面2枚窓など、戦後のモータリゼーション寸前、公共輸送機関の黄金期を伝える貴重な車両です。

一方では、日本国内では産業遺産の保存整備が遅れており、貴重な産業遺産が次々と消えています。各交通事業者とも経営は苦しく、僅かな経費を捻出できないために貴重な車両でも廃車せざるを得ないのが現実です。市民団体や鉄道趣味者などが少しでも支えることで、現役のまま将来へ伝えていくことが必ず出来ると考えています。

また、日光と同じ県内の栃木県では宇都宮市へのLRT新規導入を焦点に激しい県知事選が戦われております。この塗装復元を機に日光をはじめ全国各地に路面電車が存在したことを知っていただきたいと考えています。そして、MOMOに代表される最新型ノンステップLRV (Light Rail Vehicle) と近代産業遺産とも言える路面電車、新しい時代と懐かしさが同じ線路上を走ることで、新たなイメージが生まれ出せるものと信じております。

### ■車両について

【復元車両】 岡山電気軌道 3005号 (旧東武鉄道日光軌道線 110号)

【車両の略歴】 昭和 28 年 宇都宮車輛 (現在の富士重工) にて誕生

東武鉄道日光軌道線にて、観光客輸送等で活躍

昭和 43 年 2 月 24 日 日光軌道線全線廃止

岡山電気軌道へ100型電車10両を譲渡

岡電東山工場にてワンマン化改造

以後、昭和 40 年代から 60 年代初頭まで、岡電の主力として活躍

しかし、冷房電車の導入で冷房が無い同型車は次々と廃車

平成 16 年 11 月 9 日 同型車 3007 号「KURO」として再デビュー

東武鉄道はかつて伊香保温泉や日光など広大な路面電車網を持っておりましたが、現在では全て廃止され、他社へ譲渡され現役で残っているのは、岡山電気軌道3000型わずか3両のみです。

### ■目標金額40万円

東武鉄道様などに残されている資料を基に、外観塗装の復元などを行います。※岡山電気軌道様より実費負担のみで良いとのご返事を頂いております。カンパはいくらでも結構ですが、5000円を一口として、岡山電気軌道・電車カードをお礼にプレゼントさせていただきます。カンパをいただいた個人・団体のお名前は復元塗装運行中、車内にて掲示いたします。

また、カンパされた皆様を対象としたお披露目運転ならびに形式写真の撮影会を行う予定です。

### 【郵便振替口座番号】

01320-3-5667

### 【加入者名】

RACDA

※通信欄に必ず「塗装復元カンパ」とご記入ください。申し訳ございませんが、振替手数料はご負担ください。

電子メールアドレスをお書き添えくだされば、最新の情報をお伝えします。

### ■スケジュール

実現は平成17(2005)年春又はGWを目指しております。※但し、集まった金額や岡電様のスケジュールによっては実現時期が左右しますので、ご了解をお願いします。

実現できた暁には出発式などを予定しております。

塗装復元後2年間、冷房が必要な夏季を除いて決まった日時にて定期運転を行う旨、岡電様からご了解を頂いております。

(月1回以上の運転で協議しております)

運転日・ダイヤは決まり次第、皆様へ広くお知らせします。

※ご注意 塗装の復元が出来なかった場合は、一定金額以上カンパされた皆様へ必要な手数料を除いてお返しします。

大規模な事故や故障により、塗装復元後やむを得ず廃車になる可能性はご承知ください。

事務局 〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15(禁酒会館 3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda\_okayama@ybb.ne.jp

http://www1.harenet.ne.jp/~racda/



RACDA かわら版連載コーナー  
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

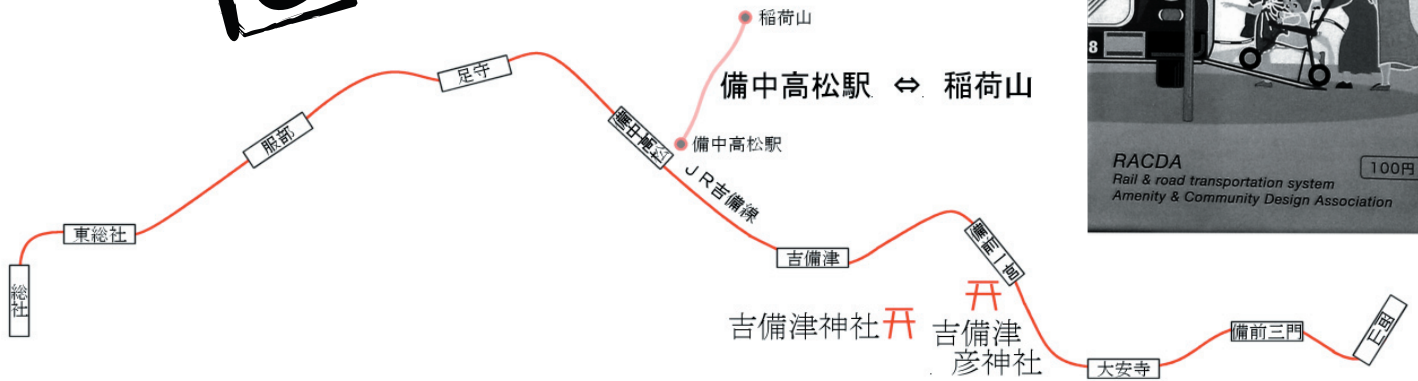
# 小さな旅

## 特集 バスで行く初詣の旅

レポート／松田和也



開 最上稲荷



もうすぐ2005年を迎えようとしていますが、皆さんはお正月の準備はお済みでしょうか？お正月には家族や友人などと初詣でに出掛ける方も多いかと思いますが、×市の新年直前号では公共交通機関を利用して行く事の出来る神社などを紹介します。

岡山の人であれば一番に思いつく初詣で場所といえば最上稲荷ではないでしょうか？

最上稲荷は伏見稲荷（京都）・豊川稲荷（愛知）と並んで三大稲荷として有名ですが、正式名称を「最上稲荷教総本山妙教寺」というそうで、御利益は商売繁盛・家内安全・交通安全などさまざまです。参拝者は岡山だけでなく近県からもたくさんの方がお参りに来

ており、県下最大の人出も予想されています。この最上稲荷への交通機関ですが、現在では中鉄バスが[883]岡山ー高松経由 稲荷山線、[884]岡山ー大窪経由 稲荷山線を運行していますが、過去には吉備線・備中高松駅～稲荷山間を軽便鉄道が運行されていた。運行をしていたのは中国鉄道（現在の中鉄バス）で1911（明治44）年5月1日に762mmのナローゲージとして開業をしています。路線は備中高松（当時は稲荷駅）～稲荷山間わずか2.4kmの短い区間でしたが最上稲荷への旅客輸送を行っていました。その後1929（昭和4）年には吉備線と同じ1067mmとなり岡山からの直通列車を運行していたようですが、

1944（昭和19）年には稲荷山線（稲荷～稲荷山間）を廃止しています。元旦の最上稲荷周辺の交通機関ですが、吉備線は23時～4時にかけて岡山ー総社（一部倉敷まで延長）間で初詣臨時列車が運行されます。中鉄バスは正月3が日、岡山ー稲荷山線は運休となりますが、備中高松駅北口（大鳥居下）より稲荷山行きシャトルバスが列車と接続する形で運行されています（運行時間は現地でお確かめください）。みなさんも今年は交通機関を使って初詣に出掛けてみられてはいかがでしょうか？